

# みどりとひと

緑化の専門相談は  
塚山公園みどりの相談所  
くさばな  
3302-9387  
(毎週土・日曜日)



No.123

みどりの新聞 平成14年12月25日 杉並区役所都市整備部公園緑地課 発行

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 3312-2111 内線 3447

## 冬

春から緑と綺麗な花を楽しませてくれた木々も、冬の花「サザンカ・ウメ・ツバキ…」などを除くと…落葉樹は枝だけ…常緑樹も眠そう…

森・公園の樹木、街路樹…、春に向かって冬眠し力を蓄えて…春を待つかのように…。

3月に発足した「みどりのボランティア杉並」も、「ピオトープ」「樹木剪定」「自然観察会」「草木染め」など、幾つかのグループに分かれ試行錯誤しながら活動しています。区民の皆さんが一人でも多く「みどり豊かな杉並」の実現に向かって「ボランティア」の輪が広がるような活動にしていけたらと思っています。

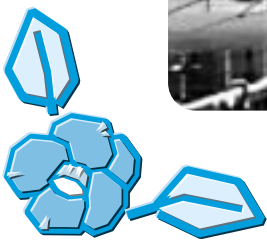
皆さんは、「区立公園が幾つあるか、ご存知ですか?」…なんと291カ所もあります。その他にも「みどりのボランティア」の応援を待っている施設の樹木や花壇はたくさんあります。

私たちの住んでいる杉並のさまざまなみどりを、私たちの手で守り、自然があふれる楽しい憩いの場にしていきませんか。

区の「みどりの事業」は、これまでのものに合わせて「みどりの基金」「屋上緑化助成制度」が加わり、ますます活動の基盤は充実してきました。区民参加の「みどりのボランティア杉並」も、一歩一歩着実に前進しています。



善福寺公園



# 冬

## のみどりの楽しみ方



大田黒公園のスタジイ

冬は太平洋側では、雨が少なく天気安定した日が多いので、公園めぐりをオススメします。みどりや花が少なくても、武蔵野は冬枯れが最高と、国木田独歩も述べています。区内では、善福寺川緑地や和田堀公園などに武蔵野の雰囲気があります。行き帰りの道では、生垣、庭木ウォッチングを楽しんでみませんか。

冬枯れ...冬はみどりが少ないのでは、とおられるあなた...そんなことはありません。中杉通りのケヤキ、東京都の木であるイチョウなど、確かに街路樹は落葉樹が多いようです。

でも、大きな道路から路地へ一歩入れば、きっと青々とした生垣のみどりを見ることができます。公園や庭木には多くの種類の常緑樹があります。一例ですが、蚕糸の森公園入り口のクロマツ、大田黒公園のスタジイなど賞禄十分です。花がなくて寂しいという方には、ツバキ、サザンカが冬の主演です。公園や寺院などでしばしば見かけることができます。意外と知られていませんが、ピロも初冬に白い花が咲きます。



蚕糸の森公園のクロマツ

# みどり探訪

みどり再発見。  
杉並のみどりやそれに関わる方々をご紹介します。



善福寺池より望む

### M邸の屋敷林(善福寺3丁目)

善福寺公園で朝夕池畔をめぐる折、水面に深々と映し出される木々の姿、または、細い岸沿いの道の向こうに高く見上げられる木々の姿、

どちらを先に気づかれるでしょうか。

善福寺池の東に、東京で失われてはならない貴重な財産となる「森」があります。

1本1本の木が「森」へと育つには何代にもわたる年月が必要で、

ひいおじいさんの時にスギを植えたとのこと。

しかし、そのスギも終戦後枯れてしまい、現在、当時のスギは20本ほど残っています。ご主人からは「木々が茂り、昼でも暗かった。

ムクノキの実を食べるのに木に登ってとっていたら怒られた。」と

小さい頃の思い出を聞くことができました。

# みどりの ボランティア杉並

がんばって  
いきまっしょい!!

「会場となった大田黒公園で剪定されたイチヨウの枝を利用して土台をつくり、そこに区内で剪定されたさまざまな種類の枝で染めたスカーフや毛糸などを展示することができました。

自然に乏しいと思われる都会ですが、わがまち杉並には、まだこんなに豊かな草木が生きついていることを、染めあがった色を通して訴えたかったのです。まだ循環できる力を持ちながら、剪定された枝や落ち葉が、人の手から放れてしまうことに心を痛めている方も多く、堆肥やチップ、炭にどんどん利用できるようになればとの声もありました。新しいみどりを増やすことも素晴らしいことですが、『今あるみどりを大切にしていき、四季を通じて愛していきたい』との思いをこめて、我々はこれからも活動していきたいと思っています」

今年の3月から活動が始まったみどりのボランティア活動ですが、その活動はビオトープづくり、樹木の手入れ、草木染めなど多岐にわたります。

今回はその中から、11月に作品の展示会を開催した草木染めのグループ「小枝のフレディ」をご紹介します。



## 花の歳時記

### ロウバイ（ロウバイ科）

厳しい寒さが続く花の少ない冬の庭で、そっと控えめに裸木に咲く黄色い花が甘くやさしい香りと彩りを添えてくれる花木です。中国原産の落葉低木で、日本にも古くから渡来しており、江戸時代初期から栽培されていました。

花びらが硬質で、透明感があり、蠟細工を思わせる独特の質感の凛とした印象の花です。花弁とがく片が似ていて区別が付きにくいので、八重咲きに見えます。

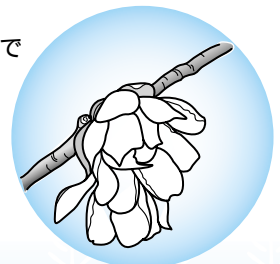
ロウバイの名前の由来は、中国名の臘梅の和音読みです。他に、花の色が蜜蝋に似ているから、開花が臘月（旧暦12月）だから、などの説もあります。

花言葉は、ゆかしさ、慈しみ。英名は、ウィンタースウィート。

区内では、蚕糸の森公園などで見ることができます。



ロウバイ



ソシンロウバイ

## 専門家に聞く 園芸ワンポイント

### 室内鉢植え植物の冬越しの工夫 ～温度管理と水やり～

寒くなり戸外から室内に取り込んだ鉢植えや、いただきものの花鉢。上手な冬越しには、温度管理と水やりがポイントになります。温度管理は、まず、それぞれの植物の生育に適する温度を調べて、置く場所を決めることが大切です。ここで注意が必要なのは、昼夜の温度差です。窓際など、昼間暖かくても夜以外と冷え込む場所もありますので、夜間の温度についても気を配りましょう。水やりは、基本的に「鉢土の表面が乾いて白っぽくなってから」を心がけ、乾燥と湿りを上手に繰り返してあげることが大切です。夜間の水やりは、冷え込みによって根を傷めることがありますので、午前中の暖かい時間に室温くらいの水をあげるように心がけましょう。鉢全体にいきわたるようにゆっくりと与え、鉢皿に出てきた余分な水はすてます。もしも、表土が固くなってきたら、水が効率よく鉢全体にゆきわたらないのでフォークなどでかき起こしましょう。

指導：塚山公園みどりの相談所 澤地 家治先生



# 「杉並区みどりの基金」 「杉並区屋上・壁面緑化助成」 はじまる!!

区では『区民が創る「みどりの都市」杉並』の実現に向けて、新たに2つの事業を始めました。これまでの事業とあわせて、ご協力ならびにご活用ください。

## 杉並区みどりの基金

この基金は、緑化推進を願う区民や事業者の皆さんからの寄附金や区からの積立金を原資として、緑化活動を行う人材の育成をはじめとする、杉並らしい独自性のある運営を目指します。

### 基金で行う事業

区内のみどりの保全及び緑化の推進のためには、それを支える人が大切であり、人こそが杉並の財産です。このため、みどりへの関心が高まるきっかけづくりやみどりの活動への支援といった人づくりを行います。

未来(あす)を拓(ひら)くみどりの人づくり  
体験学習や専門講座、樹名板の作成・取り付け費など

みどりのボランティア活動に対する助成

また、基金の規模が大きくなった際には、民有の樹木保全や貴重な植物の自生地などの購入も考えます。

### 税制上の優遇措置

この基金への寄附金については、所得税法や地方税法、法人税法での優遇措置があります。

事業の詳細については公園緑地課みどりの係  
(☎3312-2111 内線3447)まで、  
お問い合わせください

### 編集後記

昭和48年に「みどりの壁新聞」として始まった本紙も120号を超え、もうじき30年を迎えます。これまで、さまざまなみどりに関する情報を皆さんにお伝えしてきました。今号から、区民の方(みどりのボランティア杉並)にも記事を作成していただきました。これからも杉並らしい紙面づくりを目指していきますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 杉並区屋上・壁面緑化助成制度

ヒートアイランド現象や都市型水害などの都市環境の緩和に効果のある、屋上・壁面緑化の推進に向けて必要な経費の一部を助成します。

### 助成対象

区内に建築物を所有又は管理している人で、次の緑化を行う場合。

建築物の屋上に緑化区画を設けて樹木等を植栽したもの。

建築物の壁面に補助器具等(ネットなど)を設置し、つる性植物を這わせたもの。または、樹木を壁に沿って仕立てたもの。

### 助成要件

新たに屋上緑化、壁面緑化を行なうもの。(屋上緑化の全面的な改修も含む。)

建築物が、建築基準法等に適合し、屋上緑化が可能なのが確認されていること。

緑化区画又は壁面緑化部分のそれぞれの面積が3㎡以上であること。

法令等により屋上緑化等の義務付けがある場合、その面積を超えた部分であること。

### 助成内容

	基準単価	助成額	限度額
屋上緑化	20,000円/㎡	基準単価に緑化区画の面積を乗じて得た額と助成対象工事の実費の2分の1のいずれか小さい額。	屋上緑化と壁面緑化をあわせて1,000,000円
壁面緑化	5,000円/㎡	基準単価に壁面緑化部分の面積を乗じて得た額と助成対象工事の実費の2分の1のいずれか小さい額。	

必ず工事着手前にご相談ください。